

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院 臨床腫瘍科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分もしくは家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2015年4月1日～2018年3月31日の間に、悪性腫瘍のために虎の門病院 臨床腫瘍科で治療を受けられた20歳以上の方

【研究課題名】

高齢がん患者を取り巻くがん診療・緩和治療の支援に向けた研究

【研究の目的・背景】

- 1) 高齢がん患者さんの臨床病理学的特徴、治療内容（手術、薬物療法、放射線治療の治療実態）および予後を調査し、生命予後に対するそれぞれのがん治療の意義について検討する。
- 2) 標準治療中、または、標準治療が終了し緩和ケアを受けている、20歳以上50歳未満、と、65歳以上の2つの群のがん患者さんのデータを比較することで、患者さんが置かれている状態や現在の問題点が、病態の違いによるものか、高齢であることで生じているものなのか、年齢に関係なくがんがん患者さんが抱えている問題なのか、など、探索的な分析を行う。
- 3) 高齢がん患者さんの診断と治療に関する社会的・経済的課題を探り、それらに対する具体的な意思決定支援策を検討する。

以上を目的としています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年8月28日 ～ 2021年12月31日まで

【単独／共同研究の別】

本研究は多施設共同研究となります。

共同研究施設：舞鶴共済病院 内科

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院臨床腫瘍科田辺裕子のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

年齢、性別、原発部位、薬の使用歴、レントゲン・CT 等の各種画像検査、病理所見、加入している保険などに関するデータなどの情報を利用します。

【研究代表者】

臨床腫瘍科 医長 田辺裕子

【虎の門病院における研究責任者】

臨床腫瘍科 医長 田辺裕子

【利用する者の範囲】

虎の門病院 臨床腫瘍科 高野利実、田辺裕子、三浦裕司、近藤千紘、尾崎由記範
舞鶴共済病院 内科 湯地雄一郎

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身あるいはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身あるいはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年10月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 臨床腫瘍科 田辺裕子

電話 03-3588-1111(代表)

